ニュースレポート 中央会

NEWS REPORT CHUOUKAI

2017
1
JANUARY
No.730

北海道の美術館・博物館シリーズ　札幌市

「北海道大学総合博物館」

北海道大学総合博物館は、140年前の札幌農学校時代から、北海道大学に蓄積された400万点にものぼる貴重な学術標本・資料の一部を一般公開している博物館です。2016年7月にリニューアルを行い、北大全12学部の教育・研究について実物資料や映像で紹介する「北大の学び舎」展示や、動物の骨や鉱石などに実際に触れる体験型展示「感じる展示室」などを新設しました。様々なテーマの企画展示や市民セミナーも開催しています。

CONTENTS

「北海道大学総合博物館」のご紹介／
「ほっかいどう働き方改革支援センター」開設のお知らせ
年頭あいさつ
北海道中小企業団体中央会　会長　尾池　一仁 …… 1
経済産業省北海道経済産業局長　児嶋　秀平 …… 2
北海道知事　高橋　はるみ …… 3
北海道産業貢献賞 …… 4
札幌市優良工場等表彰、産業経済功労者表彰／
帯広広小路商店街振興組合　創立50周年記念式典開催 …… 5
第68回中小企業団体全国大会　開催報告 …… 6
特集　クラウドファンディングを活用して
北海道のエゾシカ革製品の魅力を全国へ！ …… 7
業界こぼれ話（ユースホステルの話） …… 8
女性研修会　参加レポート …… 9
平成28年度　中小企業労働事情実態調査（part2） …… 10
11月の道内景況 …… 12
支部だより …… 14
中小企業大学校旭川校からのお知らせ …… 16
中小企業基盤整備機構からのお知らせ

北海道中小企業団体中央会

●「北海道大学総合博物館」のご紹介●

所在地　〒060-0810
札幌市北区北10条西8丁目

TEL　011-706-2658

開館時間　午前10時～午後5時
※6～10月の金曜のみ午前10時～午後9時

休館日　毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）
年末年始、大学行事により臨時の開館、休館あり

入館料　無料

MAP

「ほっかいどう働き方改革支援センター」開設のお知らせ

本道の働き方改革を推進する拠点として、就業環境の改善などに取り組む企業の相談にワンストップで対応する「ほっかいどう働き方改革支援センター」が、12月20日から中央会本部内に開設された。このセンターでは、常駐する社会保険労務士や中小企業診断士が無料で相談に応じるほか、函館、旭川、帯広、釧路、北見、室蘭の6都市でも毎月1回出張相談会を開催する。

初日に行われた開設式には、関係する行政機関や経済団体、金融機関等が出席し、業務やスタッフの紹介などに続き、北海道 阿部啓二経済部長、北海道労働局 田中敏章局長、本会 尾池会長によって入口に看板が掲示された。

関係者が出席し、開設式が行われた

尾池会長（左）らにより、看板が掲出された

センターの詳しい事業内容は、ホームページをご覧ください。
⇓

http://www.lilac.co.jp/hataraki/

北海道中小企業団体中央会
会長　尾池　一仁

年頭にあたって

新年　あけましておめでとうございます。

会員をはじめ、関係機関の皆様には本会の事業推進にあたり格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、新興国の成長鈍化や原油安などに対する懸念にはじまり、英国のEU離脱、トランプ・ショックといった国際経済に影響を与える大きな出来事があり、国内ではマイナス金利政策の導入などもあって為替や株式の相場が激しく変動しました。また、熊本地震の発生や北海道と東北を襲った台風は、地域の産業経済や住民生活に深い爪痕を残すなど、グローバル経済の問題や気候変動に伴う災害リスクを痛感させられた一年でした。

一方、道民が待ち望んだ北海道新幹線は予想を上回る乗車率で函館市を中心に開業効果が認められ、道内への外国人観光客も引き続き増加しており、関連する産業分野は好調さを増しています。

そして迎えた平成29年は、地域や中小企業全体にはいま一つ景気回復感が得られず、近い将来の消費税率引き上げやTPPの影響など不透明感はぬぐえないものの、好調な観光や全国的に見て優位にある食・農業の分野が核となって幅広く本道経済が活性化することを期待するところであります。

また、本会が事務局を担っている「ものづくり補助金」事業も連続して5年目となり、革新的な取組の成果が道内各地で拡大しはじめています。さらに、官民をあげた運動が本格化している冬季オリンピック・パラリンピックの招致は、経済活性化の起爆剤になるものと思います。

このような状況にあって、本会は中小企業・小規模事業者に共通する課題を解決していくためには、相互扶助の精神のもとに連携し、組織の力を活かした取組を行うことがいっそう有効であることを確信しながら、これからも連携組織の専門支援機関として事業を推進してまいります。

昨年12月には道から事業を受託し、「ほっかいどう働き方改革支援センター」を開設しました。「一億総活躍社会」をめざし政府が推進しようとする「働き方改革」は、長時間労働の是正や同一労働同一賃金の実現などにより、女性や高齢者、若者の活躍する機会を拡大するとともに、企業の人手不足の解消、人材の確保・定着につながり、事業活動を円滑化させるものであります。

こうした事業をはじめとして、本会は今年も多様化するニーズを敏感に捉えて会員をはじめ、道内の中小企業・小規模事業者の皆様のお役にたてるよう役職員一同努めてまいります。

相変わりませぬご支援、ご協力をお願いするとともに、新しい年が皆様にとりまして実り多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

経済産業省北海道経済産業局長
児嶋　秀平

年頭所感

～強い北海道経済をつくる。～

平成29年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年の我が国経済を振り返ると、名目 GDP600兆円の実現に向けた「日本再興戦略2016」や、総事業規模28兆円に及ぶ「未来への投資を実現する経済対策」等、政府の成長戦略や経済対策により、雇用情勢や企業収益を中心とした経済の好循環が拡大しました。北海道経済も、インバウンドに支えられて好調な観光や雇用動向の改善などにより緩やかな持ち直しの状況が見られるとともに、北海道日本ハムファイターズの10年ぶりの日本一や北海道コンサドーレ札幌の J1昇格などスポーツ面での明るい話題もありました。新年を迎えるに当たり、全国に比較して速いスピードで人口減少と高齢化が進展する北海道の現状を踏まえ、強みを伸ばす「攻め」、危機・災害に強い「守り」、エネルギー供給面から「支える」という3つの政策を着実に進めることにより、「強い北海道経済」をつくります。

まず、地域の未来につながる投資を加速化し、地域経済をけん引する、食、観光、ものづくり先端分野等における中核事業を支援することにより、ローカルアベノミクスを深化させます。食関連分野では、道内農水産物・加工品等の輸出力強化と生産性の向上へ向けた取組を進めます。広がる海外新市場の獲得へ向け、地域商社機能・空港機能を含めた食のグローバルバリューチェーンを構築するとともに、生産・加工現場等における IoT・AI・ロボット等の活用支援を通じて生産性を高めることにより、食関連産業の競争力強化を推進します。観光分野では、本年秋から本格開催される No Maps（映画・音楽・先端 IT が融合する国際コンベンション）の持つソフトパワーを新たな価値・サービスとして道内外へ展開し、北海道や札幌の国際的認知度の向上や新たな未来志向のビジネスの創造に繋げます。また、アウトドア観光のブランド化やワインツーリズムの推進等、地域資源を活かした観光コンテンツの充実に加え、今後増加が見込まれるムスリムインバウンドの需要獲得等の取組により、北海道観光の満足度・消費単価向上、更なるインバウンドの拡大を目指します。さらに、産学官金連携を加速し、自治体による地方創生の取組をソフト・ハードの両面から支援するとともに、今後成長が期待される航空機・医療機器・新素材等ものづくり先端分野や医療・健康関連分野の競争力強化、新分野進出を支援します。

次に、北海道経済の活力源である中小企業・小規模事業者が最大限に活躍できる事業環境の整備を支援します。昨年夏、北海道は大型台風の連続上陸により甚大な被害を受けました。今後もこうした自然災害等緊急事態の発生が想定される中、道内中小企業・小規模事業者の BCP（事業継続計画）策定率40％達成へ向け、関係機関と連携しながら様々な施策を展開します。また、生産性向上やイノベーティブな研究開発・設備投資へ向けた税制・補助金等による支援、創業促進、下請取引の適正化等を通じ経営力の安定・強化、新陳代謝の促進を図ります。あわせて、免税商店街の形成によるインバウンド需要獲得等を通じ、商店街の中長期的な発展・自立化を支援します。

北海道の経済成長を支え、道民生活の安全・安心を確保するための取組も着実に進めます。資源・エネルギーのより一層の経済的かつ安定的な供給確保のため、安全性の確保を大前提に泊発電所の再稼働を円滑に進めます。加えて、工場・ビル等事業所や家庭での省エネルギーを進めるとともに、再生可能エネルギーの導入促進に取り組みます。また、昨年の電力小売全面自由化に続き、本年4月に予定されているガス小売全面自由化の円滑な始動へ向けた適切な環境整備を行います。さらに、製品安全確保や悪質商法対策を進め、消費者利益の増進に努めます。

こうした支援を有機的に連携させ、展開していくことにより道内企業の稼ぐ力や生産性が向上し、北海道経済の好循環と将来にわたる持続的な拡大発展につながることを強く期待しています。私を含め当局職員一同、地域の現場へ足を運び、自治体、産業支援機関、金融機関等の皆様と最大限に連携しながら、「強い北海道経済」の実現に尽力いたします。

本年が皆様にとって実りの多い飛躍の年となりますよう、心から祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

北海道知事
高橋　はるみ

平成29年　知事年頭所感

新年明けましておめでとうございます。皆様とともに新春を迎えることができましたことを、大変うれしく思います。

昨年を振り返りますと、3月に道民の長年の夢であった北海道新幹線が開業しました。

北海道の歴史に新たな1ページが刻まれ、道外との交流拡大の大きな弾みとなりました。

スポーツの分野では、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでの道産子選手の活躍や、北海高校の夏の甲子園準優勝、北海道日本ハムファイターズの10年ぶりの日本一、北海道コンサドーレ札幌のJ2優勝など、明るい話題が続き、道民に勇気と感動を与えてくれました。

また、食や観光の海外への売り込みや、安心して子育てできる環境づくり、医療・福祉サービスの確保など、地域創生に向けた様々な取組を進め、次への飛躍に向けた確かな礎を築くことのできた1年であったと思います。

一方で、8月から9月にかけ相次いだ記録的豪雨により、道内各地で未曾有の被害が発生しました。お亡くなりになられた方々とそのご遺族の皆様に心からお悔やみ申し上げますとともに、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。依然として、道民生活や地域産業に大きな影響が残っており、道としては、被災地域の速やかな復旧・復興に向け、引き続き国や市町村などと総力を挙げて取り組んでまいります。

今年は、これまで進めてきた地域創生を一層推進し、次のステージへと押し上げていく年にしたいと考えています。

海外戦略の新たな展開に向け、若者の海外留学への支援など本道の未来を担うグローバル人材の育成に取り組むほか、昨年シンガポールに設置したアセアン事務所を拠点として、北海道ブランドの発信や市場開拓、投資の呼び込みなどを強力に推進するとともに、新たな航空路線も活用した農水産物の販路拡大に取り組むなど、道産食品の一層の輸出拡大を図ります。

また、ICT 等の先端技術を活用したスマート農業など、攻めの農林水産業を展開するとともに、中小・小規模企業の振興をはじめ、新エネルギーの開発や活用促進、健康長寿産業の振興など、次世代を担う成長産業の創造に取り組みます。

持続可能な活力ある地域づくりを進めるため、結婚、出産、子育てとそれぞれの段階に応じた切れ目ない支援を強化するとともに、東京に開設した「移住定住情報センター」を核とした情報提供や北海道版「生涯活躍のまち構想」の普及など、「北海道暮らし」の魅力を創造・発信し、道内に人を呼び込み、定着を促してまいります。

多くの道民の皆様から不安の声が寄せられている JR 北海道の事業範囲の見直しについては、地域の皆様と連携・協力を図りながら、道としての役割をしっかりと果たしていきます。また、全国的にも例のない道内7空港の一括民間委託の取組を進め、空港の機能強化や航空ネットワークの充実により、広域観光やインバウンドの振興、さらには、北海道全体の活性化を図っていきます。

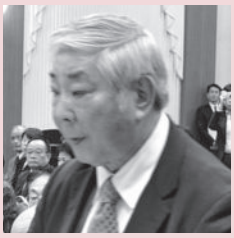
こうした取組を通じて、北海道の新しいキャッチフレーズである「その先の、道へ。北海道」に込められた思いを形にしていくため、北海道の無限の可能性を信じ、本道が有する潜在力を十二分に引き出しながら、道民の皆様とともに「輝きつづける北海道」の実現に向けて全力を尽くしてまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとりまして、希望に満ちたすばらしい年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

北海道産業貢献賞　受賞おめでとうございます!

11月14日、平成28年度北海道産業貢献賞の贈呈式が京王プラザホテル札幌において行われた。
当日は、受賞者をはじめ関係者等約100名が出席するなか、北海道 山谷吉宏副知事から受賞者一人一人に賞状が贈呈された。
本会関係者で受賞の栄に浴されたのは次の方々です。おめでとうございます！（受賞順掲載）

【商工鉱業関係功労者】



石澤　徳司　氏
北見地区電気工事業協同組合
理事長

数藤　融廣　氏
道央水産物商業協同組合
理事長

園部　一正　氏
上川北部石油業協同組合
理事長

爾波　寛文　氏
苫小牧重機土木協同組合
前理事長

濱中　實　氏
胆振地方石油販売業協同組合
理事長

樋口　和夫　氏
十勝電気工事業協同組合
前理事長

福井　昭和　氏
北海道砂利工業組合
副理事長

松田　俊司　氏
協同組合十字街商盛会
理事長

松永　英樹　氏
輪西中核施設協同組合
理事長

三井　福成　氏
北西部十勝道路維持事業協同組合　理事長
鹿追建設業事業協同組合　理事長

宮田　信昭　氏
釧根電気工事業協同組合
副理事長

吉田　孝雄　氏
北海道鍼灸マッサージ柔整
協同組合　理事長

若林　輝彦　氏
協同組合びほろ生き活き商店街
理事長

若林　英勝　氏
函館地方畳商協同組合
理事長

渡辺　直行　氏
旭川家具工業協同組合
理事長

観光事業功労者

西島　勝司　氏
置戸町大通り商店街協同組合
理事長

認定職業訓練功労者

田村　奎司　氏
帯広塗装工業協同組合　理事

杉本　雅則　氏
釧路板金工業協同組合
理事長

卓越した技能者

大上　正一　氏
苫小牧管工事業協同組合
理事

平田　昭市　氏
函館建築板金事業協同組合
理事長

高木　均　氏
旭川建具事業協同組合
理事長

田中　功　氏
北海道板金工業組合　理事

札幌市優良工場等表彰、産業経済功労者表彰 受賞おめでとうございます！

札幌市の商工業の振興に寄与した優良な工場・店舗などの事業所やその役員、従業員を表彰する「札幌市優良工場等表彰」と同市の産業経済の発展に著しく功績のあった個人を表彰する「札幌市産業経済功労者表彰」の各表彰式が11月16日と21日の両日、札幌パークホテルにおいて行われ、秋元克広市長から表彰状が授与された。

本会関係者で受賞の栄に浴されたのは次の方々です。おめでとうございます！

札幌市優良工場等表彰

三箇　將夫　氏
札幌発寒工業団地協同組合
理事（元理事長）

矢吹　英俊　氏
北海道印刷工業組合　理事

内山　謙士郎　氏
札幌市製紙原料事業協同組合　理事長
北海道製紙原料直納商業組合　理事長

五十嵐　幸雄　氏
北海道インテリア事業協同組合
理事長

片山　　貢　氏
札幌団地倉庫事業協同組合
事務局長

札幌市産業経済功労者表彰

高坂　輝雄　氏
札幌蒲鉾工業協同組合　理事長

滝川　徹幸　氏
札幌市商店街振興組合連合会
常任理事

山田　修三　氏
情報創造事業協同組合　相談役

帯広広小路商店街振興組合

創立50周年記念式典・祝賀会開催!

11月20日、ホテル日航ノースランド帯広において帯広広小路商店街振興組合（河野光雄理事長、組合員29人）の創立50周年記念式典・祝賀会が開催された。

冒頭の挨拶で河野理事長は、創立50周年を迎えるまでの道のりについて触れ、先人や関係者に対する感謝の言葉を述べるとともに、「今後も組合のさらなる発展に向け、より強固に団結していきたい」と抱負を述べた。

挨拶に立つ河野理事長

来賓からの祝辞に続き、同組合の永年にわたる功績をたたえ、本会十勝支部長の臼井呉行常任理事（協同組合日専連とかち 理事長）が本会会長の表彰状を贈呈した。また、商工組合中央金庫帯広支店からは感謝状が贈られた。

式典後に行われた祝賀会では、「祝賀の詩」が舞いとともに吟じられるなど、祝賀ムード一色のなか終始なごやかに懇談が続いた。

祝吟も披露された

組合に対し本会から表彰状が贈呈された

第68回中小企業団体全国大会開催

～団結は力　見せよう組合の底力！～

「団結は力　見せよう組合の底力！」を合い言葉に、第68回中小企業団体全国大会が石川県金沢市において、全国から約2,500名（うち北海道36名）の関係者が参加し開催された。

開会に当たり主催者の大村全国中央会会長と開催地の山出石川県中央会会長からそれぞれ挨拶があった後、来賓の紹介があり、代表して松村祥史 経済産業副大臣、磯崎陽輔 農林水産副大臣らから祝辞があった。

中小企業団体全国大会の様子

全国大会決議

Ⅰ　実感ある景気回復と中小企業の経営力の強化（総論）

国内需要の喚起と中小企業の経営力の強化／中小企業組合制度等の改善・充実、中央会支援体制の強化／TPP対応、海外展開の推進／公正な競争環境に向けた独禁法等の執行強化／官公需対策による経営支援の強化／熊本地震・東日本大震災等からの復興の加速化

Ⅱ　地域を支える中小企業の生産性の向上（各論）

中小企業に対する金融政策の拡充／中小企業の生産性の向上を図る税制の拡充／卸売・小売業、物流、サービス業の生産性向上／まちづくり・商業集積の強化、商取引の適正化／中小製造業等の持続的発展の推進／中小企業の実態を踏まえた労働・雇用対策の推進／中小企業における職業能力開発の推進／社会保障制度の見直し

大会は、山出石川県中央会会長を議長に議事が進められ、「実感ある景気回復と中小企業の経営力の強化」、「地域を支える中小企業の生産性の向上」など、全国385万の中小企業・小規模事業者の持続的発展を実現するための中小企業対策の拡充に関する14にわたる項目を決議した。

議事終了後、下荒石川県中小企業青年中央会会長より「女性や若者などにとって、働きやすい、多様な働き方の選択が広がり、働く全ての人が活き活きと活躍できる希望ある社会となるよう、私達が先頭に立って、貢献していくことを決意する。」とした「大会宣言」があり、満場の賛同を得て採択された。

表彰状を授与された
小野寺理事長（左）と武田理事長（右）

引き続き、優良組合36組合、組合功労者73名、中央会優秀専従者19名の表彰式が行われ、本会から優良組合として北海道医師協同組合が、組合功労者として札幌電気工事業協同組合 小野寺理事長、道北電気工事業協同組合 武田理事長、北海道製麺協同組合 佐々木理事長、札幌質屋協同組合 鹿森理事長の4名が表彰された。

最後に、次期開催地を長野県松本市とすることが発表され、大会旗が大村全国中央会会長から春日長野県中央会会長に引き継がれ、高田坦史 中小企業基盤整備機構理事長の万歳三唱により盛会のうちに終了した。

本会では大会に併せて、恒例のオリジナルツアー（3泊4日）を企画し、20名が参加した。「立山黒部アルペンルート」では黒部ダムの壮大さや、立山連峰の雄大さを体験したほか、クルマで走ることができる砂浜「千里浜なぎさドライブウェイ」、日本三名園の一つ「兼六園」などを巡り交流と親睦を深めた。

このたびの大会とツアーにご参加いただきました皆様、大変ありがとうございました。

兼六園での記念撮影

特集　クラウドファンディングを活用して北海道のエゾシカ革製品の魅力を全国へ!

札幌中央信用組合では、昨年から全国信用協同組合連合会等と業務連携契約を締結し、信用組合業界が構築した購入型クラウドファンディングサービス「MOTTAINAI もっと」(https://mottainai-motto.jp/)を提供しています。

今回は、全国第1号の案件として支援中のエゾシカ革アルチザンデザイナー　高瀬季里子さんのプロジェクトを紹介します。

背景ときっかけ

エゾシカは、古くからアイヌが、肉は食用に、毛皮は防寒着、角は狩りをするための槍や農具に加工するなど、余すことなく活用されていました。1800年代後半には、乱獲や自然災害などが重なり絶滅寸前にまでなりましたが、現在は個体数が急激に増加し、害獣として駆除されることが多くなっています。

高瀬さんは、父が狩猟を趣味としていたこともあり、幼い頃からエゾシカは身近な存在で、東京の美術大学を卒業後、クラフトショップでアクセサリー技術などを身につけて札幌に戻った際、エゾシカが害獣として駆除されていることを知り、「北海道でしかできないモノづくり」を目指し、捨てられていることが多いエゾシカ革を使って製品化することを考えました。

購入型クラウドファンディングとの出会い

高瀬さんと購入型クラウドファンディングとの出会いは、札幌中央信用組合との取引開始時にお世話になった支店長さん(現在は本部役員)からあるとき電話があり、エゾシカ革を活用した製品づくりを進めていることを話したところ、地域資源を有効活用するすばらしい取組を、信用組合として是非応援したいとして、購入型クラウドファンディングの活用を勧めていただいたのがきっかけでした。

※クラウドファンディング…アイディアを実現するために必要な資金を、専用のインターネットサイトを通じて世の中に呼びかけ、アイディアに共感した人(サポーター)から少額ずつ集める手法。中でも「購入型」は物を購入することで支援する形式。

製品化されたエゾシカ革製品の数々

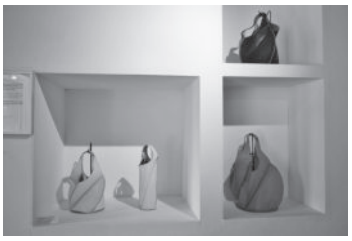
高瀬さん
(自作のエゾシカ革バッグを手に)

エゾシカ革を活用した製品を次々と生み出す

高瀬さんはこれまでに、名刺入れやビアカップとカップホルダーのセットなどの新作を次々に生み出しています。今後は、購入型クラウドファンディングによってサポーター(購入者)の方などにエゾシカ革の良さを知ってもらうとともに、さらなる製品開発につなげていきたいとのことです。

エゾシカ革は薄くても丈夫で、肌触りが良く、とても軽いのが特徴です。これらの機能性に加え、高瀬さんが手掛けたエゾシカ革の製品は、札幌市の地域ブランド「札幌スタイル」に認証されたほか、モノづくり応援プロジェクト LEXUS NEW TAKUMI PROJECT 2016年度「匠」北海道代表に選出されるなど、デザイン性も高く評価されています。

高瀬さんは「野生のエゾシカは個体差や育った環境により、革の質感なども全く異なってきます。それぞれの革の風合いを大切にし、個性として活かすことで、二つとして同じものはない製品になることが最大の魅力だと思います。」と話していました。


エゾシカ革のバッグも
アトリエ内におしゃれに並ぶ

今後の展望

今後の展望について高瀬さんは「古くからあるエゾシカ革活用の知恵を取り入れながら、現代にあった製品を作っていきたい。そして、ゆくゆくは日本のものづくりを支える伝統工芸にしていければと思います。」と抱負を語っていました。

札幌中央信用組合の提供する購入型クラウドファンディングは、資金調達と情報発信という点から、意欲ある事業者を支援する有効な取組であり、中央会としても、活用が広がることを期待しています。

シリーズ ちょっと一息

「業界こぼれ話」

ユースホステルの話

組合の紹介

北海道ユースホステル協同組合は、昭和41年2月に道内でユースホステルを営む事業者により設立され、現在は組合員38人により組織されています。

主な事業は、組合員が取り扱う寝具類や食器類等の消耗品の共同購買、宿泊者が利用するレンタカーの手配などの旅行事業を行っています。

ユースホステルとは?

そもそもユースホステルについてわからない方もいらっしゃると思います。ユースホステルは、主に青少年が安く、楽しく、安全な旅行ができるよう作られたドイツ発祥の「旅の宿」ネットワークで、現在道内には38のユースホステルがあり、全てが当組合に加入しています。

一昔前までは、男女別の相部屋、飲酒も禁止されていた時代もありましたが、現在はこのような制限はなくなり、例えば、個室も希望すれば可能となるなど、より利用者にとって使いやすい施設になっています。

ユースホステルを運営するためには?

ユースホステルを運営するためには、宿泊施設を有した上で、日本ユースホステル協会と契約を行う必要があります。なお、宿泊施設の全体をユースホステルとして契約する方法以外にも、ホテルや旅館を営む事業者が、施設の一部分についてユースホステルとして使用するために契約するケースも可能であるため、ユースホステルを兼ねたホテルや旅館も存在しています。

宿泊者層の特徴について

ユースホステルの宿泊者は青少年ばかりではなく、50～60代の方も増えています。この年代の方は、10～20代の若い頃にユースホステルを利用していたことが多く、定年退職などを機に旅行に出かける際に利用されることが多いようです。

また、大学生のサークル活動や中学生の宿泊研修に利用されるほか、最近では中国や台湾などのアジア系外国人観光客の宿泊者が増えてきているようです。

ユースホステルの魅力

ユースホステルは安いだけではなく、その多くでは談話スペースを設け、そこでお茶会などを開くことによって、宿泊者同士の交流を深められるよう工夫されており、宿泊者同士で情報交換などコミュニケーションを取りやすいのが魅力です。この出会いをきっかけに友達ができた、結婚されたという方もいます。

なお、お茶会のほかにも、地域の特性を活かしてスキー体験や畑での野菜収穫体験などのイベントを行っているユースホステルもあります。ちなみに、これらの行事はあくまでも自由参加なので、初対面の人と話すことやイベント参加に抵抗がある方も、安心してご宿泊いただけます。

組合からのPR

当組合は道内のユースホステルが全て加入している強みを活かし、今後も北海道の観光の発展に協力していきたいと考えています。また、外国人観光客による利用も増えてきていますので、北海道の魅力を発信したいと思っています。

最後になりますが、道内外・国内外問わずご利用いただけるユースホステルに、機会がありましたら、是非一度お越しください。

北海道ユースホステル協会のホームページ
http://www.youthhostel.or.jp/

今回は、北海道ユースホステル協同組合　事務局長　中村　誠氏よりご寄稿いただきました。ありがとうございました。

女性研修会レポート

釧路和商協同組合　**駒谷　純恵** さん

東　一恵　講師

平成28年11月18日、プレミアホテル中島公園札幌にて、北海道中小企業団体中央会主催の女性研修会に参加させていただきました。

研修会の内容としては、株式会社　心理カウンセリング・ココ　代表取締役　東一恵先生から「上手なストレスとの付き合い方について」というテーマでご講演いただき、自分のストレスパターンと向き合い、そのストレスを味方にすることが大事だと言うことを教えていただきました。

ストレスの原因となるのは「ストレッサー」と呼ばれるもので、男性のストレッサーは、仕事の職務内容が主で「ノルマ」や「残業」であるのに対し、女性のストレッサーは、ほぼ9割が人間関係であり、年齢・性別によってもストレッサーが異なり、ストレスの捉え方が違うことを知ることができ面白かったです。

研修会の様子

配布された資料に基づき、自分の思いを点数に置き換えることによって、ストレスのタイプを診断するストレスパターンチェックでは、物事が思い通りに進まず腹を立て、周囲に対するイライラを感じる「イライラ型」、先々の恐怖や不安からストレスをため込む「ビクビク型」、他人の言動から自分に対する悪意を感じ取る「ムカムカ型」、何事もきちんとやろうとして緊張状態が続く結果、ヘトヘトになってしまう「ヘトヘト型」や、他にも「クヨクヨ型」、「イジイジ型」、「ウツウツ型」など、7つのストレスのパターンがあるということが勉強になりました。

私は「ヘトヘト型」に該当し、改めて自分の仕事の内容を思い返すと、各個店が店を連ねる共同店舗の経理をしていますので、毎日、店主や店の従業員、組合職員など約200人位の方々と接しており、普段自分では感じていないストレスが色々な形になって感じていることがわかりました。

講演中に先生がおっしゃっていた言葉で、「いつもの自分と違う」ことに気づくには「いつもの自分」を知っておく必要があると教えていただき、自分のストレスに気がつかないと病気になることもあるということなので、日々気をつけたいと思いました。

この研修会を通じて、家族や職場の同僚など周囲の人の言動を観察し、どのようなことにストレスを感じているかを知ることによって、双方がストレスを感じない環境を築いていきたいと感じました。

他にも資料があり、もっとお話を聞きたかったのですが時間が限られていて、もし機会があれば先生の研修にまた参加したいと思います。

次に、株式会社明治の田中様から、「カラダの中から美を整える～美しい肌を保つための食事と栄養～」と題して、毎日の食生活に気をつけ、足りない栄養をサプリメントやドリンクで補いより良いカラダづくりのアドバイスをいただきました。

大いに盛り上がった懇親会

懇親会では、他の組合さんと交流ができ、楽しい時間を過ごすことができました。来年は、同じ業種の方々と仕事に活かせる情報交換などをしてみたいです。

中央会事務局の皆様、本当にありがとうございました。

平成28年度 中小企業労働事情実態調査（北海道要約版 PART2）

1　従業員の労働時間（パートタイマーなど短時間労働者を除く。）

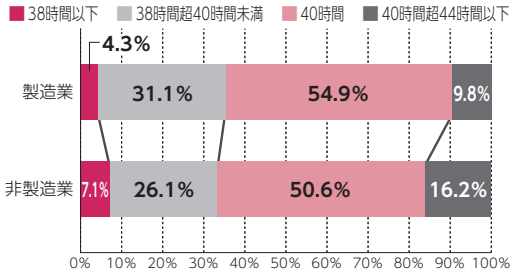
（1）週所定労働時間（製造業・非製造業）

従業員の週所定労働時間は、〈図1〉のとおり、「40時間超44時間以下」に業種的な違いが見られ、製造業が前年より2.1ポイント増の9.8％で、非製造業が前年より3.1ポイント低い16.2％であった。

製造業より非製造業の方が6.4ポイント高いが、労働時間に増加傾向が見られるのは製造業である。

※10人未満の商業、映画・演劇業、保険衛生業、接客娯楽業は、「週44時間」特例措置対象事業所

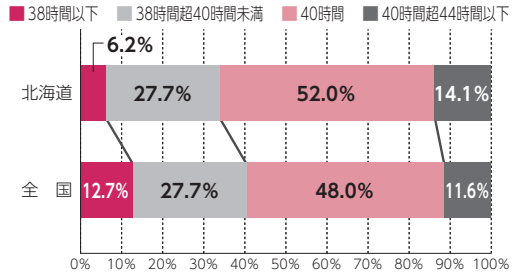
〈図1〉週所定労働時間（製造業・非製造業）



（2）週所定労働時間（全国比）

従業員の週所定労働時間を全国と比較すると〈図2〉のとおり、「40時間超44時間以下」は北海道が14.1％、全国が11.6％で、北海道が2.5ポイント高く、「38時間以下」は北海道が6.2％、全国が12.7％で、全国が6.5ポイント高かった。

〈図2〉週所定労働時間（全国比）

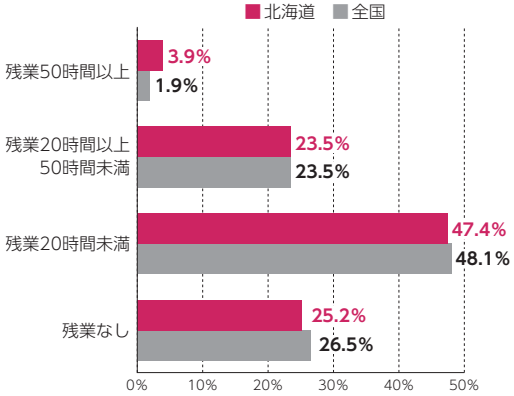


（3）平成27年従業員1人当たりの月平均残業時間（全国比）

平成27年従業員1人当たりの月平均残業時間（時間外労働・休日労働）を全国と比較すると〈図3〉のとおり、「残業20時間未満」が47.4％で最も多かったが、全国を0.7ポイント下回った。次に、「残業なし」が25.2％であったが、全国を1.3ポイント下回った。

「残業50時間以上」は、3.9％で全国に比べ、2.0ポイント多く、北海道は全国に比べ残業時間が多いことがわかる。

〈図3〉従業員1人当たりの月平均残業時間（全国比）

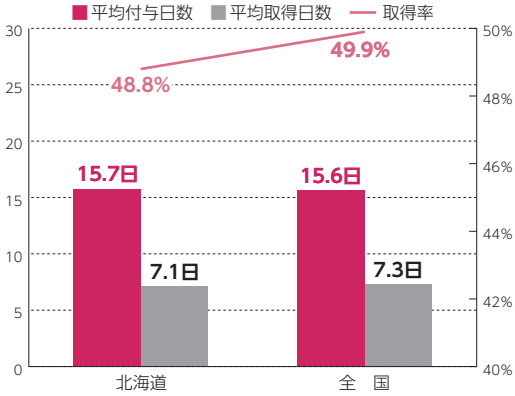


（4）平成27年従業員1人当たりの年次有給休暇の平均付与日数・取得日数・取得率（全国比）（全国中央会より）

年次有給休暇の平均付与日数・取得日数・取得率を全国と比較すると〈図4〉のとおり、有給休暇の平均付与日数・取得日数及び取得率による北海道及び全国に大きな違いは見受けられなかった。

なお、北海道の平均付与日数は15.7日、平均取得日数7.1日、取得率48.8％で、全国の付与日数は、15.6日、取得日数7.3日、取得率49.9％であった。

〈図4〉年次有給休暇の平均付与日数・取得日数・取得率

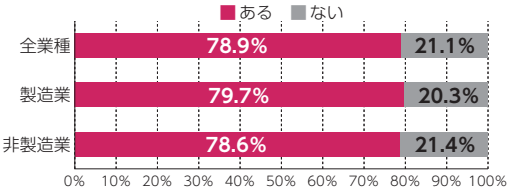


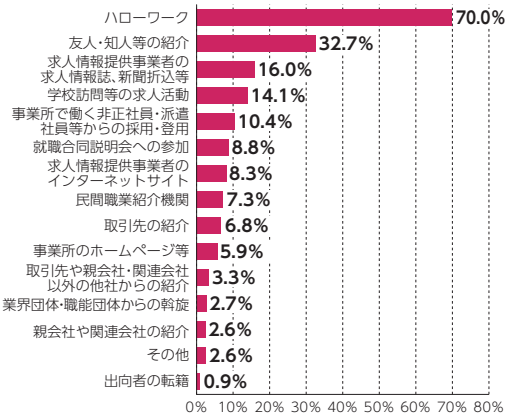
2　従業員の採用方法
正社員の採用方法（平成23年4月～28年7月）

正社員について、平成23年4月から平成28年7月1日までの採用の有無については〈図5〉のとおり、「ある」と回答した事業所は全業種において8割近くを占めている。

採用ルートについて主なものは、「ハローワーク」が70.0%、「友人・知人等の紹介」が32.7%、「求人情報提供事業者の求人情報誌、新聞折込等」が16.0%、「学校訪問等の求人活動」が14.1%、「非正社員・派遣社員等からの採用・登用」が10.4%であった。

〈図5〉従業員の採用方法（正社員）





3　女性管理職の登用

女性管理職について「いる」と答えた事業所は〈図6〉のとおり、30.7%（製造業29.0%、非製造業31.5%）であり、2年前と比較すると3.0ポイント上回った。

従業員の規模別に比較してみると、「100～300人」規模の事業所では50.0%と最も多く、「30～99人」が35.9%と続き、一番規模が小さい「1～4人」でも26.1%と全ての従業員規模の事業所において25%を超える割合となっている。

また、全国と比較すると、「北海道」は4.1ポイント下回っており女性管理職の登用は少ないことがわかる。

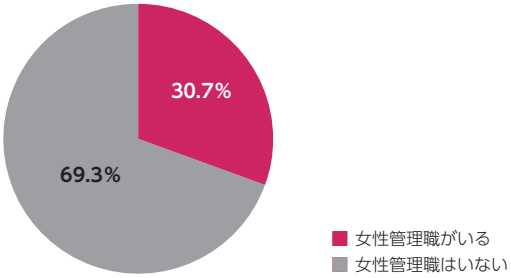
さらに、登用されている女性管理職の人数について役職別に調べたところ、「役員」が製造業で37.9%、非製造業で50.2%と共に最も人数が多い結果となった。特に非製造業では女性管理職の半数が役員という非常に高い比率となっている。

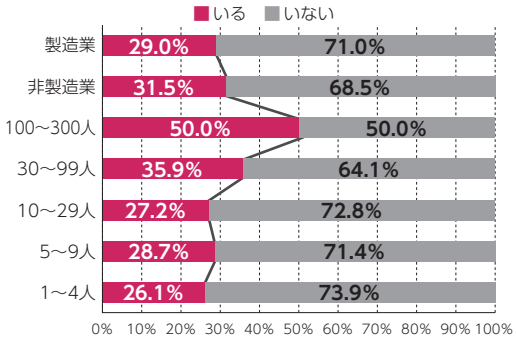
従業員規模別にみてみると、「役員」の比率がもっとも高いのは「1～4人」規模の事業所で92.0%、次いで「5～9人」で78.2%、「10～29人」で50.4%と従業員30人未満の事業所では女性管理職の半数以上が役員という結果となり、規模が大きくなるほど役員の比率は低くなっていることがわかる。

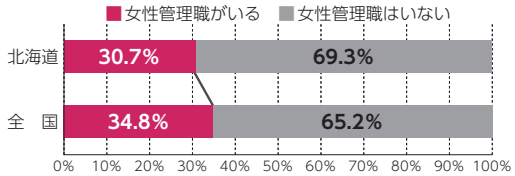
上記とは逆に「課長級」については、「100～300人」規模の事業所で53.6%と最も高い比率となっており、次いで「30～99人」が29.4%、「10～29人」が26.0%と従業員規模が小さくなるのに比例して、その比率も低くなっている。

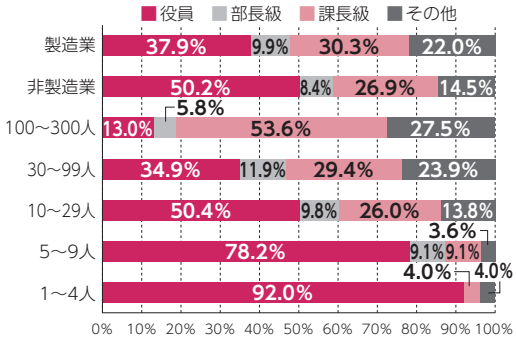
加えて、「部長級」については、全ての規模の事業所においてもその割合は低い数値となっており、「役員」「部長級」「課長級」それぞれで特徴が分かれる結果となった。

〈図6〉女性管理職の登用





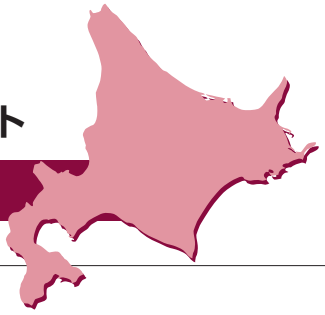




本調査の実施に当たり、ご協力頂きました会員組合及び組合員企業に深く感謝申し上げます。

11月の道内景況　情報連絡員レポート

売上高、収益状況で改善傾向も　景況は悪化

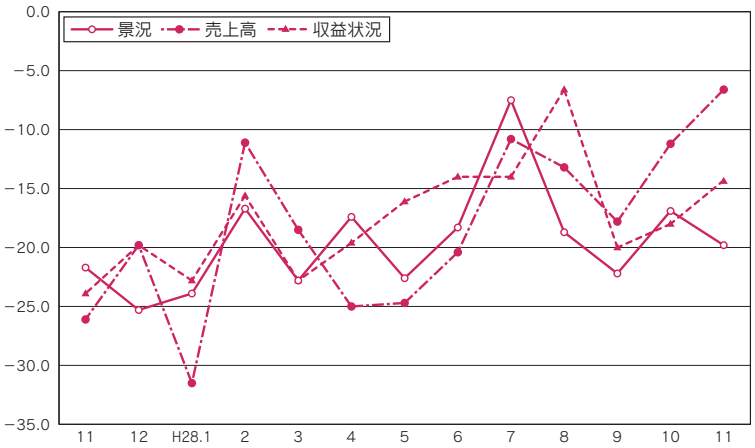


概　況

主要 DI 値の推移では、前月に比べ「売上高」、「収益状況」で改善傾向が見られ、2ヶ月連続で上昇したものの、「景況」は悪化した。

前年同月との比較では、製造業で「売上高」がマイナス9.1、非製造業ではマイナス5.2とともにマイナス10を上回ったものの、「景況」は、製造業でマイナス24.2、非製造業でマイナス17.2と低い数値を示していることから、全体の持ち直しまでには至っていない。

主要 DI 値の推移



景況天気図（前年同月比）

	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
全業種	△19.8	△6.6	△14.3	△2.2	△5.5	0.0	△11.0
製造業	△24.2	△9.1	△12.1	3.0	△9.1	△6.1	△9.1
食料品	↘	→	↘	↗	→	↘	↘
繊維工業	→	→	↘	→	↘	↘	→
木材・木製品	↘	↘	→	→	→	→	→
紙・紙加工品	↘	↘	↘	→	→	↘	→
印刷	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→
窯業・土石製品	↗	↗	↗	→	→	↗	→
鉄鋼・金属	↘	↘	↘	→	↘	→	↘
一般機器	↘	↘	→	→	→	→	↘
その他	↗	↗	→	↗	→	→	↗
非製造業	△17.2	△5.2	△15.5	△5.2	△3.4	3.4	△12.1
卸売業	↘	↗	→	↗	→	→	→
小売業	↘	↘	↘	→	→	↗	↘
商店街	→	→	↗	↘	→	→	→
サービス業	↘	↘	↘	↘	↘	↗	↘
建設業	→	↗	→	↘	→	→	↘
運輸業	↘	→	↘	↘	→	↘	↘
その他	→	→	→	→	→	→	→

（凡例）

30 以上	10 以上～30 未満	△ 10 以上～10 未満	△ 30 超～△ 10 未満	△ 30 以下

天気図の見方　各景況項目について調査月と前年同月を比較して、「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値（D・I 値）をもとに作成。その基準は上記のとおりである。

※矢印部分は、前年同月を比較して増加又は好転「↗」・不変「→」・悪化又は減少「↘」を各業界ごとに平均して算出

製造業

味噌出荷量（道内）：単月（28年10月）　前年対比　86.0%
醤油出荷量（道内）：単月（28年10月）　前年対比　100.3%

・10月単月の出荷量は味噌が極端に悪く、醤油は前年を上回った。10月に入り、道内出荷量の累計は味噌が99.7%と今年初めて前年を割り、醤油は前年対比96.5%と相変わらず悪い。
9月迄の累計で、全国の味噌の出荷量は前年比100.9%、全国の醤油出荷量は前年比99.9%である。味噌、醤油ともに全国平均より悪い。
北米の大豆の生産量が豊作と言われているが、11月末時点で期待したほど値下がりしていない。（味噌・醤油／全道）

・12月の歳末商戦に向けての商品の動きが、例年より鈍い。消費者の節約志向が強まり、問屋・小売店も低価格商品への品揃えに力を入れてきている。その影響はメーカーに波及しており、デフレに逆戻りする傾向が懸念される。（飲料／全道）

・11月の生コン出荷量は329千m^3で、前月比で15.7%減少、前年同月比で16.5%増加となった。
地域別には、前年同月を上回った分会（協組）は29分会（協組）中、23分会（協組）で前年（増加は9分会（協組））を上回った。前年同月と比較して増加したのは札幌、南北海道、釧路、北渡島など。一方で減少したのは苫小牧、旭川地方、紋別地方などであった。（生コンクリート／全道）

・地域差が大きく、道南地域は骨材の動きが少ないが、道東では台風被害の復旧工事に伴って需要が多くなっている。
全体では骨材の動きは前年に比べて少ない。（砕石／全道）

・11月は工作機械は悪化、水道資材は悪化、自動車は不変。年内の見通しは悪い。来期の状況も好転するような情報はない。円安により原材料が値上がり傾向。（銑鉄鋳物／全道）

・金属加工業種では冬期間に入ったことにより受注が減少し、昨年度と比較しても減少している。一方で食品業種は年末も近づき繁忙期に入っている。1年を通してみるとそれぞれの業種に波があり、11月から3月までは金属等製造が減少する期間となり、操業時間を短くして調整している。（金属工作機械／江別）

・前月に引き続き、景気が低迷しているかのように感じる。国内の個人消費の増加やインバウンドなどに対して、販売戦略をより強化したい。（家具／旭川）

非製造業（卸・小売・商店街・サービス業）

・夏以降、徐々に流通菓子業界は苦戦の色が見えてきていた。当月も動きはあまり良くなく、節約志向の強まりが影響しているとみられる。価格も昨年と比べると安価傾向にあり、伸び悩んでいる。（菓子／全道）

・台風災害から3ヶ月余り、国道274号線（日勝峠）は来年秋の再開予定、JR石勝線は今月23日頃に再開など、復旧の目途が相次いで公表された。JRの再開により、人や物の流れが少しでも前へ進むことになる。（各種商品／帯広）

・11月取扱高は前年比103%の状況で、少しずつ取扱高は回復している。夏場盛況だった野菜・果物販売の道の駅もオフシーズンとなり、集客が減少しているが、登別温泉や洞爺湖温泉の観光客の集客は好調。
苫小牧西地区に大型ホームセンターの開店が間近で、市内はホームセンターとドラッグストアの過当競争となっている。
もっと高齢者社会に優しい街づくりになって欲しいと願う。（各種商品／苫小牧）

・原油価格は11月初旬は続落し、さらに米経済の不透明感から円高ドル安に転嫁し原油コストは下落した。しかし中旬以降は高止まりとなり、円安ドル高も加わり原油コストが大幅に上昇するなど、動きの激しいひと月となった。
販売量については、寒気の強まりが例年より1ヶ月程早かったため、11月初旬から暖房用灯油の需要期に入り、昨年を上回る販売量となっている。しかし自動車用燃料については、積雪や路面凍結等も早まったことで利用の動きが鈍り、昨年に比べ若干減少している。
今後は本格的な灯油需要期を迎えるが、OPEC総会での減産合意による原油高が続いている。それに伴う灯油価格の高騰によって、節約志向の高まりや電気・ガス暖房機器への転換も考えられるため、予断を許さない状況である。（燃料小売業／稚内）

・11月は、前月までの快進撃が若干弱まった一ヶ月だったが、「総合インフォメーションカウンター（外国人向け）」は継続的にご利用いただいている状況である。また、11月の最終日曜日には毎年恒例の「歳末大売り出し開催！！」を宣言し、年末までの歳末期間がスタートした。12月からは豪華景品が当たる大抽選会も開催するので、特に地元の方々に気軽に朝市へ足を運んでもらいたい。（各種商品／函館）

・販売が好調な店と好調ではない店との二極化の話をよく聞く。各店でいろいろな対応を考えているようだ。
共通していることは、小売向きの良質車両の玉不足である。
クレジットも当協会では前年より多くなっている。（中古自動車／札幌）

・12月7日から燃料用重油が3円値上がりしたが、大きな混乱もなく現状維持である。（公衆浴場／全道）

非製造業（建設・運輸業）

・先月同様、年末の竣工工事で多忙を極めており、若干の人手不足感がある。官庁の工事物件の発注も一段落しつつあり、雪の季節にもなってきたので、年明けから年度末までの工事枯れが懸念される。電気業界のなかでも良い所と悪い所の二極化になっているようだが、概ね昨年並みの利益は確保している様である。（電気工事／全道）

・馬鈴薯や玉葱の動きは依然として悪いが、産地によりバラつきがある状況。全体量としては昨年より減少する見込み。
一般カーゴについては、前月同様昨年比同程度の動きである。域内輸送も前年並みに推移している。（一般貨物自動車運送／石狩）

・輸送繁忙期に入ったが、ドライバーの労働時間短縮のため、遠距離の顧客を他社運行に移管したり高速道路利用が増加したりと、間接経費が増大しているが、まだ昨年より燃費が軽減されているのが救いである。しかし10月から軽油価格の上昇が続き、OPEC減産合意後の価格上昇を危惧している。（一般貨物自動車運送／札幌）

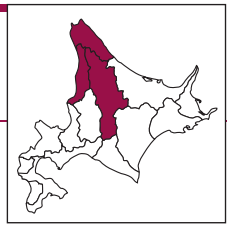
・台風の影響で、農産物輸送が大きく落ち込んだ。（一般貨物自動車運送／苫小牧）

※情報連絡員から頂いた景況等のコメントの一部を抜粋して掲載しています。コメントの全文については、本会ホームページに掲載しておりますのでご覧下さい。（本会ホームページ：http://www.h-chuokai.or.jp）

支部だより

上川・宗谷支部（旭川市）

所管／上川・宗谷総合振興局・留萌振興局管内
駐在職員／今井事務所長・大瀧主事・平松主事



初山別村「繋小屋（つなごや）」のご紹介

10月19日、初山別村に多世代交流拠点施設「繋小屋」がオープンしました。

豪雪時の住民安全確保のための地域集会所であった施設を改修し設置された繋小屋は、「繋ごう」と「寺子屋」の二つの言葉から、人と人とが交流し、つながる場所になってくれればという願いを込めて名付けられました。

現在、初山別村地域おこし協力隊と村民有志で設立した「一般社団法人マッチワークス」が運営しており、集いの場として無料で使えるフリースペースやカフェスペースがあります。施設内にあるコミュニティーカフェ「Tailwind」ではコーヒーやジュースなどの飲み物だけでなく、週替わり丼や初山別産の小麦を使った生パスタなども楽しむことができます。11月には小中高生向けの自学塾もオープンし、ますます活気づいていきそうです。

繋小屋の外観

清潔感のある内観

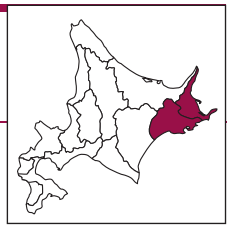
オープン当初より、繋小屋の専用 Facebook ページが開設されており、リアルタイムで開催中のイベントやカフェの新メニューなども閲覧することができます。

たくさんの繋がりが生まれる空間「繋小屋」に一度訪れてみてはいかがでしょうか。

繋小屋 Facebook ページ：
https://www.facebook.com/tsunagoya/

釧根支部（釧路市）

所管／釧路総合振興局・根室振興局管内
駐在職員／越川事務所長・大西主事



今回は、当支部会員の「阿寒アイヌ工芸協同組合（西田正男理事長、組合員30人）」をご紹介します。

同組合は釧路市の阿寒湖畔にアイヌコタンとして店舗や施設を構え、道内外の観光客をはじめ外国人観光客も多く訪れています。

アイヌの模様をあしらった民芸品や阿寒アイヌシアター「イコロ（アイヌ語で宝という意味）」が人気となっており、イコロでは、国の重要無形民俗文化財に指定されている「アイヌ古式舞踊」をはじめとするアイヌの伝統的な踊りや人形劇、イオマンテの火まつりなどが上演されています。

アイヌ古式舞踊「鶴の舞」の様子

12月3日には国立民族学博物館（大阪府）のアイヌ文化新展示関連事業として、アイヌの世界観を人形劇でユーモラスに描いた『ふんだりけったりクマ神さま』の公演を行い、アイヌ文化の伝承、発信にも力を入れています。

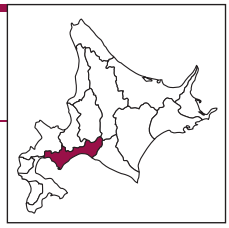
阿寒湖畔にはほかにも、阿寒湖温泉街や冬の風物詩ワカサギ釣りなど、レジャースポットが沢山あります。

是非、北海道の冬のひとときを阿寒湖畔で過ごしてみてはいかがでしょうか。

人形劇

胆振支部（室蘭市）

所管／胆振総合振興局管内
駐在職員／中條事務所長・千葉主事



講習会・研修会を開催しています！

11月11日に、白老建設業協同組合（清水尚昭理事長、組合員21人）の組合員を対象としたドローン講習会を白老町で開催しました。

講師はDJI（中国にある民生用ドローンの製造会社）の日本代理店HELICAM（ヘリカム）株式会社の丹野社長が務め、座学や実際に外に出て操縦の体験を行いました。

座学では機体の種類や価格、性能、基本操作などについての説明のほか、建設分野や火災現場などでの幅広い活用方法を紹介。実習では実際に参加者がドローンの操縦を体験し、「人が入れない場所で使うことができれば作業員の危険を回避できる」との感想が聞かれました。

屋外での実習

清水理事長は「災害現場をはじめ、建設や土木作業現場で活用することで作業の省力化にもつながる」と話していました。

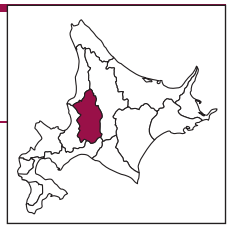
中央会胆振支部では様々な研修会・講習会を開催しており、今年度は、今回紹介したドローン講習会の他にも、中小企業者のための英会話セミナーやラッピング・ディスプレイセミナー、会計・労務関係のセミナーなどを行い、大変好評でした。

「組合でこんな講習会を開催したい！」とお考えでしたら、ぜひご相談ください。

操縦を体験する参加者

空知支部（岩見沢市）

所管／空知総合振興局管内
担当／連携支援部　伊藤主事



天候に関する研修会を開催しました

12月1日、砂川市の除排雪業務を行っている砂川道路管理協同組合（川端宏昌理事長、組合員14人）において、気象予報士・防災士の菅井貴子さんを講師に招き、「除雪に役立つ天気予報の見方」と題したセミナーを開催しました。

セミナーでは、天気予報の仕組みや歴史などの基礎知識を時折はさみながら、北海道の気象条件や空知特有の気候について、図を用いて分かりやすく解説していただきました。特に、短期の天気予報の発表時間（1日3回）や週間予報の見るべきポイントなどは、出席者の方々の除排雪業務と直結する重要な事項であることもあり、熱心に聴講されていました。

セミナーに先立ち、除排雪業務の開始式も行われ、市民生活と都市機能を維持すべく、冬本番に備えて出席者全員が一致団結した取組を誓っていた。

←セミナーの様子

出席者による
記念撮影→

中小企業大学校旭川校おすすめ研修のご案内

各市町村・金融機関・商工会議所・商工会等で助成制度があります。
詳細は、中小企業大学校旭川校（TEL：0166-65-1200）までお気軽にお問い合わせ下さい。

コースNo. 24

【インターバル研修：延べ4日間】

経営に活かす人材育成の考え方・進め方

2月2日（木）～2月3日（金）
3月2日（木）～3月3日（金）
受講料：38,000円（税込）
対象者：経営幹部・管理者（候補者）

研修のねらい
この研修では、人材育成の知識と手法を学ぶとともに、自社の経営戦略を実現するために求められている人材像を明確にすることで、より自社に合った実践的で実効性の高い人材育成計画（人事・研修・計画）によって社員のやる気を引き出し、定着率を高めて業績にも貢献できる仕組みづくりを学びます。

カリキュラム概要
経営に活かす人材育成の考え方
人材育成の効果を高める仕組みづくり
経営に活かす人材育成の実践方法
経営に活かす人材育成計画

講師
エムストリームコンサルティング株式会社　代表取締役
植田　正樹 氏

コースNo. 25

キャッシュフロー経営で現場を変える！

キャッシュフロー経営と利益・資金計画

2月7日（火）～2月10日（金）
受講料：38,000円（税込）
対象者：経営幹部・管理者（候補者）

研修のねらい
キャッシュフロー経営の考え方について理解するとともに、キャッシュフローをベースに自社の経営強化に活かす利益・資金計画の策定について学びます。

※決算書について初めて学ばれる方も安心してご参加いただけます。
※自社の直近3期分の決算書をご持参いただきます。（当校への提出及び他の受講生に公表していただくことはありません。

カリキュラム概要
資金繰り表とキャッシュフロー計算書の本質的な違いを理解し、キャッシュフローを経営に活かす着眼点について学びます。取り組むべき経営課題の理解を深め、自社の実践活用につなげます。

講師
宮公認会計士・税理士事務所　所長
宮　直史 氏

コースNo. 26

営業部門管理者養成講座

新たな市場を切り拓くためのマーケティング

2月14日（火）～2月16日（木）
受講料：31,000円（税込）
対象者：管理者・新任管理者（候補者）

研修のねらい
営業マネージャー・リーダーとして必須となるマーケティングの知識だけでなく、特に成果をあげている事例について学び、個客指向に基づいた営業推進手法や、営業戦略の立案とその実践スキルを身につけ、マネージャー・リーダーとして自社の営業を改革していくための計画を立てていただきます。

カリキュラム概要
営業活動の原則とタブー
マーケティング思考の提案営業とチームづくり
営業戦略づくりと検証

講師
MORE経営コンサルティング株式会社　代表取締役
日野　眞明 氏

コースNo. 27

業種別経営課題対策講座　運送業

運送業がドライバー不足を解消し経営力を高める人材育成

2月21日（火）～2月22日（水）
受講料：22,000円（税込）
対象者：経営者、経営幹部（候補者）

研修のねらい
多様化する顧客ニーズや市場の期待に応え続けながら、社内で起こる様々な問題を解決するとともに、着実にドライバー確保と人材教育に取り組んで、厳しい時代を乗り切り成長するための運送業のあり方を学びます。

カリキュラム概要
スタッフをチームに変えるチームマネジメント
ドライバーの確保と育成戦略
経営課題への対策と実行計画

講師
経営コンサルティング波多野事務所　代表・中小企業診断士
波多野　卓司 氏
鳴海急送株式会社　代表取締役
酒井　誠 氏

講座内容詳細は、ホームページからもご覧いただけます。　中小　旭川　検索

資料請求や講座内容に関してお気軽にお問い合わせください。
電話　0166-65-1200
住所　旭川市緑が丘東3条2丁目2-1

中小企業大学校旭川校
独立行政法人 中小企業基盤整備機構　北海道本部

経営者にも退職金を!

小規模企業共済制度

ポイント❶ 常時使用する従業員が20名以下（商業・サービス業では5名以下）の個人事業主、個人事業主の共同経営者（2名まで）及び会社の役員の方が加入できます。

ポイント❷ 無理のない掛金、税制面での大きなメリット!

- 掛金は毎月1,000円～70,000円（500円単位）の範囲内で自由に選択できます。
- 掛金は全額所得控除、受取りは「退職所得扱い」（一括受取）または「公的年金等の雑所得扱い」（分割受取）となります。

ポイント❸ 事業資金の貸付け・災害時のサポートもあります!

- 事業資金等の貸付制度が利用できます（担保・保証人不要）。
- 地震・台風、火災等の災害時にも貸付けが受けられます。

全国加入者約30万人の実績!

経営セーフティ共済制度

ポイント❶ 中小企業で、引き続き1年以上事業を行っている方が加入できます。

- 取引先事業者が倒産して売掛金債権等が回収困難となった時に貸付けが受けられます。
- 取引先との商取引の事実確認だけで、迅速に貸付けが受けられます。

ポイント❷ 無理のない掛金、税制面での大きなメリット!

- 月額5,000円～200,000円（5,000円単位）の範囲内で自由に選択できます。
- 掛金は全額「損金（法人）」または「必要経費（個人事業）」に算入できます。

ポイント❸ 最高8,000万円まで貸付けが受けられます。

- 掛金総額10倍の範囲内で、回収困難となった売掛金債権等の額
- 貸付条件は「無担保・無保証人」「無利子」※ただし、貸付けを受けた場合、貸付額の10分の1の額が、積立てた掛金から控除されます。

ポイント❹ 40ヶ月以上掛けていれば、

- それ以降掛金を掛けなくても、共済金の貸付けは受けられますので安心です。
- 解約しても共済金の貸付けを受けていなければ積立てた掛金の全額が戻ります。

本制度についてのお問い合せ・お申し込みは

北海道中小企業団体中央会

〒060-0001　札幌市中央区北1条西7丁目
プレスト1・7　3階

TEL／011-231-1919
FAX／011-271-1109

本制度は、法律に基づき独立行政法人
中小企業基盤整備機構が運営しています。

（独）中小企業基盤整備機構
共済相談室
TEL 050-5541-7171

目には見えない大きな力で、私たちの暮らしを支え、日本の未来を変えてゆく。
中小企業は、モノづくりの国のいちばんの誇りです。
商工中金は、これからもずっと、中小企業専門の金融機関として
長年培った「心」と「技」に磨きをかけて、日本の中小企業をサポートしつづけます。

中小企業と、情熱と挑戦をともに。

札幌支店　札幌市中央区大通西4-1　TEL 011-241-7231
函館支店　函館市若松町3-6　TEL 0138-23-5621
帯広支店　帯広市西三条南6-20-1　TEL 0155-23-3185
旭川支店　旭川市五条通9-1703-81　TEL 0166-26-2181
釧路営業所　釧路市大町1-1-1　TEL 0154-42-0671
ホームページ　http://www.shokochukin.co.jp/

人を思う。未来を思う。
商工中金

北海道中小企業団体中央会

〒060-0001　北海道札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7 3階
TEL 011-231-1919　FAX 011-271-1109
ホームページアドレス　http://www.h-chuokai.or.jp
発行日／平成29年1月1日(毎月1日発行)

*この機関誌は、誰もが読みやすいユニバーサルデザインフォントと環境にやさしい植物油インキと再生紙を使用しています。

UD FONT　VEGETABLE OIL INK

表紙写真提供：北海道大学総合博物館